

調査項目 ③「都市公園における遊戯施設のトレンド把握及び遊戯施設のリースによる設置と管理」に関する調査研究

調査年次 平成29年度（9次調査）

目的

近年では幅広い年代の公園利用が見受けられ、ニーズの変化に伴い利用する遊具の多様化が求められている。そこで、昔ながらの遊具、最新遊具の特徴など遊具のトレンドを踏まえ、利用者にとって魅力のある遊具の特徴を把握する。また、遊具の補修や更新は長寿命化計画に基づき実施すべきであるが十分な予算確保ができず更新を先送りする場合も多い。こうした状況を改善するため遊具の設置にかかる初期費用や維持管理費を低減化する手法の一つとして、遊具のリース化による可能性とそのメリット、デメリットについて検討することを目的とした。

概要

以下の内容について調査を行った。

- ①遊具の設置ニーズ・トレンドの把握
- ②遊具のトレンド把握
- ③遊具の設置にかかるリース制度の導入についての調査
- ④遊具のニーズとトレンド及びリース化に係る考察

結果

- ①Webアンケートを活用した全国的なモニター調査を実施し、遊具の設置ニーズについて把握し、生活状況全般、働き方の傾向、高齢者の生活状況などを文献や実態調査を参考に整理した。
- ②遊具の変遷を調査し、設置傾向や機能などを整理し、トレンドの把握を行った。
- ③遊具の設置にかかるリース制度導入について、その利点や留意点について検討する。遊具やその他施設のリースの導入や検討事例の調査、遊具メーカー、リース会社などにヒアリングを行い契約の考え方について調査した。
- ④今後設置すべき遊具のあり方について整理し、設置にあたり整備及び維持管理費用の平準化等につながる設置方法として、リース制度の利点や留意点などを踏まえ、その可能性と実現のための課題について考察した。

課題

ニーズの把握調査では、遊具等の体力・運動能力向上の機能への期待が大きい。安全性の向上がトレンドであるが、設置後20年以上経過している老朽化遊具の蓄積が課題となっている。

遊具リースの導入については、費用の平準化や固定化、事務負担の軽減、保守を伴う契約とした場合の安全性の向上などの利点がある一方で、国庫補助の対象外であることや、一般に瑕疵担保責任を自治体が負うことなどの留意点があることがわかった。

調査結果の反映等

キーワード

健康器具等、リース制度

事例公園等

東京都檜原村「檜原都民の森」、常総市「駅南児童公園」